



グローバル時代のキャリア形成を考える

国際キャリア教育プログラム

参加者募集

2017 合宿セミナー開講!!

国際キャリア教育

International Career Seminar

日時
2017年8月26日(土) 9:30
~28日(月) 15:15

定員：60名(先着順)

日時
2017年10月7日(土) 9:30
~9日(月) 15:15

定員：60名(先着順)

共通事項

参加費：12,000円(食費、宿泊費込)
会場：コンセーレ(栃木県青年会館)
宿泊 ※JR宇都宮駅西口からバスで15分程度
<http://www.concere.jp/>

詳細はホームページでご確認ください!!

[国際キャリア教育プログラム](http://www.kokusai.utsunomiya-u.ac.jp/career-program/) 検索

<http://www.kokusai.utsunomiya-u.ac.jp/career-program/>

※「国際キャリア教育」及び「International Career Seminar」は、栃木県からの支援を受けて大学コンソーシアムとちぎが開講する「とちぎグローバル人材育成プログラム」の共通科目として、宇都宮大学が実施するものです。



主催：大学コンソーシアムとちぎ、宇都宮大学
協力：白鷲大学
後援：(公社)栃木県経済同友会、(公財)栃木県国際交流協会、NPO法人 宇都宮市国際交流協会、
いっくら国際文化交流会、JICA筑波
協賛：(一財)栃木県青年会館、(公財)あしぎん国際交流財団、麒麟ビール(株)栃木支社



キャリア合宿セミナー2017日程案

豊富な経験を有する講師とともに、働くとは何か、そして仕事と地域や世界とのつながりについて考えます。テーマ別の分科会ごとに、ワークショップやディスカッションを取り入れた、合宿形式の集中授業です。

＜国際キャリア教育、International Career Seminar共通＞

1日目

9:00~ 9:30	受付
9:30~ 9:45	開講式/オリエンテーション
9:50~12:00	全体講義/ワークショップ
12:00~12:50	昼食
13:00~13:20	趣旨説明/発表のプレゼン方法説明
13:20~15:20	パネルトーク
15:50~17:50	分科会
18:30~20:00	交流会

2日目

7:30~ 8:20	朝食
8:30~12:00	分科会
12:00~12:50	昼食
13:00~15:30	分科会
15:30~17:30	分科会まとめ/中間発表準備
17:30~18:30	中間発表
18:30~19:30	夕食
19:30~21:30	発表準備(自由)

3日目

7:30~ 8:20	朝食
9:00~10:00	発表準備
10:00~12:20	全体発表
12:20~13:10	昼食
13:20~15:00	振り返り/意見交換/全体総括等
15:00~15:15	閉講式
15:30	バスで宇都宮駅・大学に移動・解散(現地解散も可)



申し込み方法

申込方法：1. 申込フォームから (<http://www.kokusai.utsunomiya-u.ac.jp/career-program/registration/>)
2. 申込用紙の送付 (申込用紙請求先メールアドレス: kokuca@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp)
申込開始：2017年5月8日(月) 申込締切：2017年7月9日(日) (定員になり次第締め切ります。)
分科会：原則先着順としますが、人数に偏りがある場合は調整させていただきます。
参加費振込：申込受付後、事務局からメールにて連絡致します。(期限までに振込がない場合はキャンセル扱いとなる場合があります。)

問い合わせ先

宇都宮大学 国際学部 〒321-8505 栃木県宇都宮市峰町350 TEL.028 (649) 5172/FAX.028 (649) 5171
E-mail kokuca@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

国際キャリア教育 グローバル時代のキャリア形成を考える

全体講義

混迷の時代の国際キャリアを考える ー真のグローバル人材に必要な条件ー

講師：重田 康博 (しげた やすひろ)

宇都宮大学 国際学部 教授、国際キャリア教育運営委員会委員長



全体講義内容：

今世界は混迷の時代と言われています。その混迷の時代を生きるための真のグローバル人材とは何か、その必要な条件を具体的な事例を示しながら紹介し、国際キャリア形成について考えます。

プロフィール：

1956年生。北九州市立大学大学院社会システム研究科博士後期課程修了(博士・学術)。国際協力推進協会(APIC)主任研究員、クリスチャン・エイド客員研究員(イギリス・ロンドン)、NGO活動推進センター(現、国際協力NGOセンター、JANIC)主幹等を経て宇都宮大学国際学部教授、国際学部附属多文化公共圏センター副センター長、専門は国際開発研究、国際NGO研究。オックスファム・ジャパン監事。開発教育協会評議員、JVCとちぎネットワーク代表。CMPS福島乳幼児妊産婦プロジェクト・アドバイザー。著書に『NGOの発展の軌跡』(明石書店 2005)、『国際NGOが世界を変える』(共著、東信堂 2006)、「第4章ミレニアム開発目標」田中治彦編著『開発教育ー持続可能な世界のために』(学文社 2008)、『激動するグローバル市民社会ー慈善から公正への発展と展開』(2017) 他。

分科会

国際ビジネス

A. 海外で働く、起業するという事



講師：生方 玉也 (うぶかた たまや)

株式会社 光洋 代表取締役社長

分科会内容：

海外(主に東南アジア)で働くこと、起業することについて自身の経験を含めた議論により理解を深める。又、海外での働く、起業するためのアクションプランを立案する。

プロフィール：

1952年生まれ、群馬県出身。家電メーカーに勤務し、TPM世界大会へ日本代表として参加。その後、ベンチャー企業、中小企業数社の経営に携わる。海外経験も長く、シンガポール駐在、ベトナムにて会社を設立し社長。その間に訪問した国約40ヶ国。又、栃木県経済同友会にて社会貢献活動推進委員会委員長、国際化推進委員会副委員長を歴任。現在は株式会社光洋の代表取締役社長を務める。

国際協力・国際貢献

B. 海外で学ぶ、海外で研究する



講師：後藤 章 (ごとう あきら)

宇都宮大学 名誉教授、特命教授(国際交流担当)

分科会内容：

言葉の壁や生活習慣の違いなど、海外の大学で学ぶには様々な障害があるけれども、その経験から得るものはきわめて大きい。語学習得のため欧米の大学に行くのもよいが、東南アジアの大学も留学するに値する。研究の題材もたくさんあるところがあるので、卒業論文や大学院で海外の研究課題に取り組むのもおすすめ。

プロフィール：

1951年札幌生まれ。専門は農業水利学、水文環境学。東京大学助手を経て、1992年から25年間宇都宮大学農学部勤務。東大助手時代の1988~1990年の2年間、タイ・バンコクにある国際大学院大学・アジア工科大学AITに派遣され、アジア諸国の学生を相手に講義と修士論文指導を体験。その後、タイはじめカンボジア、インドネシアなど東南アジア各地を対象に、水と農業に関する研究を外国人留学生・日本人学生とともに進めてきた。2004年から4年間、留学生センター長を務めたかわら、この国際キャリア合宿セミナー第1~4回の実行委員長として企画・運営にあたった。2017年3月に定年退職。

国際協力・国際貢献

C. NGOにとっての国際協力 ーあなたはどこから世界を見る?ー



講師：渡辺 直子 (わたなべ なおこ)

特定非営利活動法人 日本国際ボランティアセンター
調査研究・政策提言/南アフリカ事業担当

分科会内容：

同じ物事でも人によって捉え方は様々。これは国際協力の現場にも当てはまりません。分科会ではワークショップなどを通じて自分のものの見方を意識化、将来どの立場で何をしたいのか、そのために必要なことを考えます。

プロフィール：

イギリスの環境保護NGO勤務、日本の大学院を経て、2005年南アフリカ事業担当としてJVCに参加。2010年度より同国現地代表を経て、2012年度より再び現職。2013年からモザンビーク小農組織との合同調査を開始、現在までに9回の現地調査を行う。アフリカ、ブラジルの市民社会組織とともに、国境を超えたアドボカシー活動を展開している。

国際協力・国際貢献

D. 自分の“コア”を探る ー国際協力は学びの連続ー



講師：鈴木 真里 (すずき まり)

(特活) アジア・コミュニティ・センター21 事務局長・理事

分科会内容：

関心の対象ややりたいことが変わっていくことは自然なこと。国際協力に携わる人たちの年齢やキャリアも実にさまざま、それに至る道はひとつではありません。“社会”と“自分”、自分の“コア”とは何かなど、私やまわりの人たちの経験を参考にしながら、皆さんと一緒に考えたいと思います。

プロフィール：

企業調査会社、(特活)国際協力NGOセンターを経て、2005年より(特活)アジア・コミュニティ・センター21。(公信)アジア・コミュニティ・トラスト事務局として11カ国の現地NGOへの助成事業調査、モニタリング、評価を行う(2001年より)ほか、マイクロファイナンス、スリランカ女性支援事業等を担当。

多文化共生と日本

E. 多文化共生社会のなかの活動力 ー労働、仕事、活動、キャリアー



講師：田巻 松雄 (たまき まつお)

宇都宮大学 国際学部 教授

分科会内容：

人間の活動力について、人間の仕事の歴史、現代社会を支えている世界中の仕事、仕事の個人的・社会的な意味等について考える。そのうえで、「共生」や「多文化共生」を考えるための知識や力について議論する。

プロフィール：

1956年生まれ。筑波大学大学院社会科学部研究科修了。社会学博士。1996年より宇都宮大学国際学部に勤務。2008年、国際学部が開設した多文化公共圏センターの初代センター長に就任。外国人児童生徒支援を目的とする宇都宮大学HANDSプロジェクト研究代表を務める。2013年4月から2017年3月まで4年間国際学部長を務めた。

異文化理解・コミュニケーション

F. ワーク&ライフをデザインしよう



講師：芳村 佳子 (よしむら よしこ)

(公財)とちぎ男女共同参画財団 主査

分科会内容：

日本の女性の活躍指数(GGI)は世界で111位。「仕事と子育て・介護の両立は可能なの?」と不安を抱えていませんか。社会を変えようとする女性たちの事例を参考に、自身と社会全体のワークライフバランスを考えます。

プロフィール：

1999年よりバルティとちぎ男女共同参画センターに勤務。女性の自立支援講座、相談室運営、情報誌編集等に従事。キャリアコンサルタントとして女性の再就職支援や学生のキャリア形成、防災士として避難所支援や防災ワークショップに取り組む。

International Career Seminar Globalization and Glocalization

全体講義

Critical Thinking and Reasons for Being: Finding Meaningful Work in A Global Age

講師：Barbara Morrison, Ph.D. バーバラ モリソン

宇都宮大学 国際学部 准教授



全体講義内容：

In this group session we will be talking and thinking about *生きがい* and the ways in which we can begin to bring a sense of meaning (*raison d'être*: reason for being) into our work lives. Using critical thinking as a guide, we will work together to understand how to both discover and cultivate what is meaningful for each of us in order to pursue and to accomplish careers both domestic and abroad.

プロフィール：

My career path has been varied to say the least and not without defeats. Very early in my career I understood that my best life lay in education and academia, but as I felt my family was unsupportive of that endeavour I turned to business - taking positions in real estate and head-hunting after having explored careers in law, government, retail, journalism, non-profit and the arts - before eventually finishing degrees in both Japanese and English literature.

分科会

入門 Introductory Work Session

国際協力・国際貢献

A. Agriculture/Rural Development Cooperation and Communication Skill



講師：Kazunari Fukumura, Ph.D. 福村 一成

宇都宮大学 農学部 農業環境工学科 准教授

分科会内容：

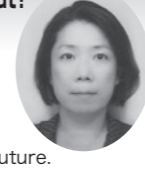
Communication skill is a key factor to plan a sustainable and rational cooperation project to meet local development needs. Through this workshop, we focus on obtaining a nonverbal communication skill for rural appraisal in terms of agriculture practices and daily life.

プロフィール：

Fukumura Kazunari earned his Master's degree (1988) from Tokyo A&T University and a PhD (1996) in Irrigation Engineering from University of Arizona after 2 years JOCV term in Ethiopia. His professional career in international development field includes; Irrigation and Water Management training coordinator at JICA's training center (4 years) and soil and water conservation advisor in Paraguay under JICA short-term scheme. He has been an advisor and project evaluation committee member for ERECON (a Tokyo based NPO) project in Cambodia and Thailand since 2013.

国際協力・国際貢献

B. What Is An Important Issue Which You Care About? - Starting Point of Your Career in Globalization



講師：Sae Osawa 大澤 小枝

国際開発ソリューションズ 教育コンサルタント

分科会内容：

You may already know what you want to become in the future. However, have you ever thought about what you want to contribute to? Through this workshop, participants will learn and consider different career paths in International Development.

プロフィール：

Sae OSAWA has a 15-year-career in International Development as Education Specialist. Having two master degrees: Educational Planning and Mediterranean Studies (mainly Middle Eastern Area Studies) from University of London, she has worked mainly in the Arab region, with different UN organisations such as UNICEF, UNHCR and UNRWA, NGOs and JICA.

異文化理解・コミュニケーション

C. "Shy" So What? - Let's Think About Why We Communicate



講師：Kazuhiko Yoshida, Ph.D. 吉田 一彦

宇都宮大学 国際学部 教授、JICA 青年海外協力隊事務局 技術顧問

分科会内容：

The shyest people wish to communicate. That could be a key to understanding why we enjoy talking even in English, the toughest language. Throughout practices with perspective changes, we re-discover our communication history and imagine ourselves to be better communicators.

プロフィール：

Kazuhiko YOSHIDA, descendant of Emishi-Japanese from Rikuzen-Takata, is a foreign language learner/user and instructor/researcher of human languages. He lived in France as a student and in Pakistan and Thailand as a language teacher. After receiving a Ph.D. in linguistics, he has been teaching linguistics and multilingual communication at Utsunomiya University since 2003 and supporting volunteers overseas since 2014. Although he has visited over 30 countries and worked with people of a hundred of different nationalities, he is continuously amazed by the diversity of the world.

中級以上 Intermediate Work Session (TOEIC550点程度以上から)

国際ビジネス

D. You Too Can Have Your Own Business



講師：Amy Long エイミー ロング

Dave and Amy English School

講師、マネージャー、教材開発者

分科会内容：

Owning your own business is a dream for many. And seems daunting. But it needn't be. Any idea can become a successful business if done right. In this work group session, we will talk about what is necessary to make a business successful. Even if you don't want to start your own business, there will be many ideas that you can use in your everyday life to become more efficient, more businesslike and more successful.

プロフィール：

Amy (from Texas in America) and husband Dave (from Liverpool, England) have been teaching English in Saitama, Japan since 1996. They opened Dave and Amy English School in Yono in 2004 with 20 students. Since then, they have opened 3 more schools in Saitama City and now have over 450 students and 6 teachers. They have written 6 text books to use in their classrooms (and are in the process of writing 6 more). They have 2 children (Alfie and Leon) who they are raising bilingually: English at home, Japanese at the local school.

国際協力・国際貢献

E. Innovation Leadership to Solve the Unsolved



講師：Takeshi Komino 小美野 剛

CWS Japan事務局長 アジア被災災害対応ネットワーク(ADRNN)理事
世界人連サミット(WHS)アジア準備委員 支援の質とアカウングビリティ向上に関するネットワーク(JQAN)代表
アクトアライアンス(ACT Alliance)人道支援政策及び実践助言委員会委員長
コア人道支援基準(CHS)暫定理事 Community World Service Asiaリージョナルプログラム部長

分科会内容：

The world is facing numerous challenges, and in international cooperation, we need to change the way we approach the unsolved problems. The workshop will explore elements of innovation leadership, and how cross-sectoral innovation with NGOs and companies are pursued.

プロフィール：

Takeshi has worked in the humanitarian sector for over 10 years with disaster management an advocacy leadership positions. He has led operations in Afghanistan, Pakistan, Myanmar, Thailand, and currently serves as General Secretary of CWS Japan in Tokyo. He represents various international networks and global initiatives, and has been behind formation of some of the key civil society networks in Asia. He holds a Masters Degree in international development from Brandeis University, MA USA.

多文化共生と日本

F. 'What We See In Others Is A Reflection Of Ourselves' - Knowing and Expression of Ourselves



講師：Linda Ohama リンダ オオハマ

日系三世の映画監督、作家、ビジュアル・アーティスト

分科会内容：

I hope to enrich understanding of yourself and others through a series of creative explorations using various forms of artistic expression and media. In Japan, strong individuality and independent thinking or expression are not highly encouraged or developed by society. Therefore, being different is not always easy in a Japanese cultural framework and remains a challenge to successful multicultural living for everyone. This workshop will inspire curiosity, trust, honesty, openness, self-confidence and awareness. There is valuable truth in the saying, 'understanding others is really understanding oneself'.

プロフィール：

Linda Ohama, as a third generation 'sansei' born in Canada, has seen many facets of multiculturalism. Linda has been working on film for 25 years. Her films have been screened internationally and received numerous awards. Her last film, 'Tohoku no Shingetsu', was filmed 2.5 years in Iwate, Miyagi and Fukushima provinces. It has recently been screened in international film festivals, receiving a nomination for Best International Documentary Award at the Rome Independent Film Festival.